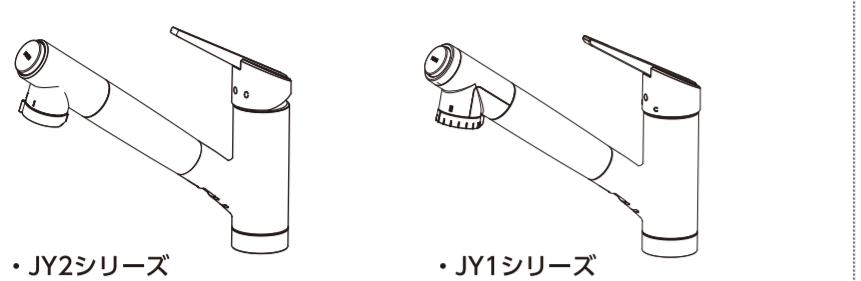


混合栓施工説明書

浄水器付シャワー水栓

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上の注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水工事は専門業者でお願い致します。

施工対象機種一覧



・JY2シリーズ

・JY1シリーズ

安全上の注意

※この説明書はJY2シリーズを基本にして説明しています。

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- △警告** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。
- △注意** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- 記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。 **!** 記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

△警告

- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
- ・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。

やけどをするおそれがあります

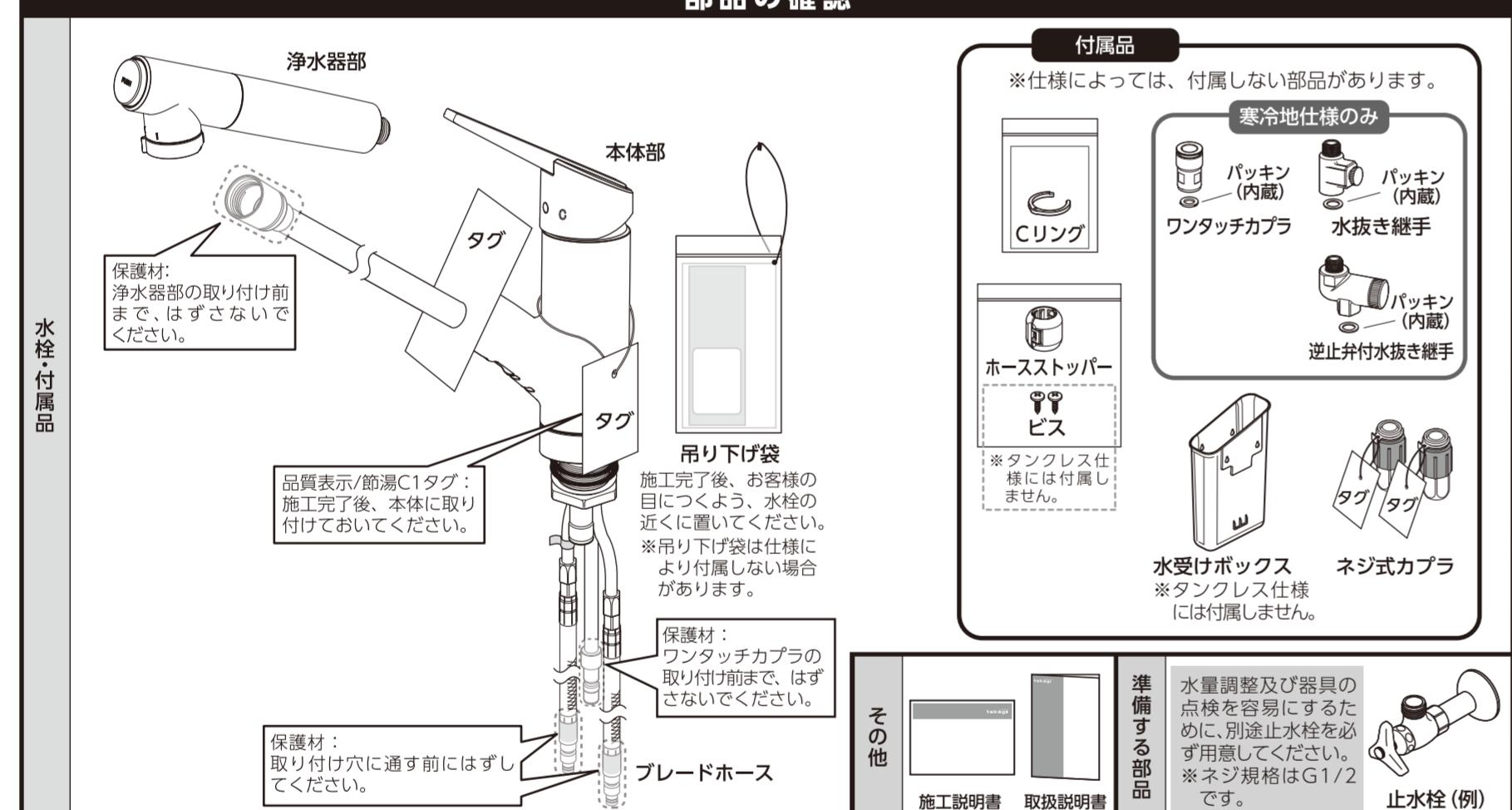


△注意

故障の原因になります



部品の確認



設置条件

- 水圧条件**
- 給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
 - 推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。
 - 給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

※給水圧力と給湯圧力は圧力が少ない程、温度調節が容易になります。

※水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

1.施工方法

1-①水道配管の止水栓を閉め水抜きを行う

配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

●キー式

●ハンドル式

●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス

止水栓

1-②蛇口取付ナット、座金、パッキンを取りはずす

ワンタッチカプラを図の位置に

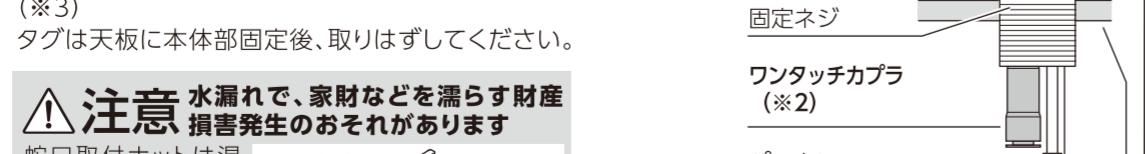
にして、蛇口取付ナット、座金、パッキン1枚を固定ねじから

はずしてください。(もう1枚の

パッキンは残しておきます)。

フレードホース先端の保護材

をはずします。



△注意 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

蛇口取付ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしてください。

△注意 破損の原因となります

蛇口取付ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしてください。

△注意 天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

※寒冷地仕様の場合

ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。

接続方法は「1-⑥の寒冷地仕様の場合」をご参照ください。

△注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

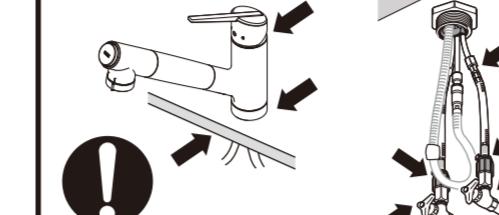
水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかりと固定してください。各接続部が確実に固定されないと水栓本体が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。



しっかり固定!

施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れないことを確認してください。

冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください)



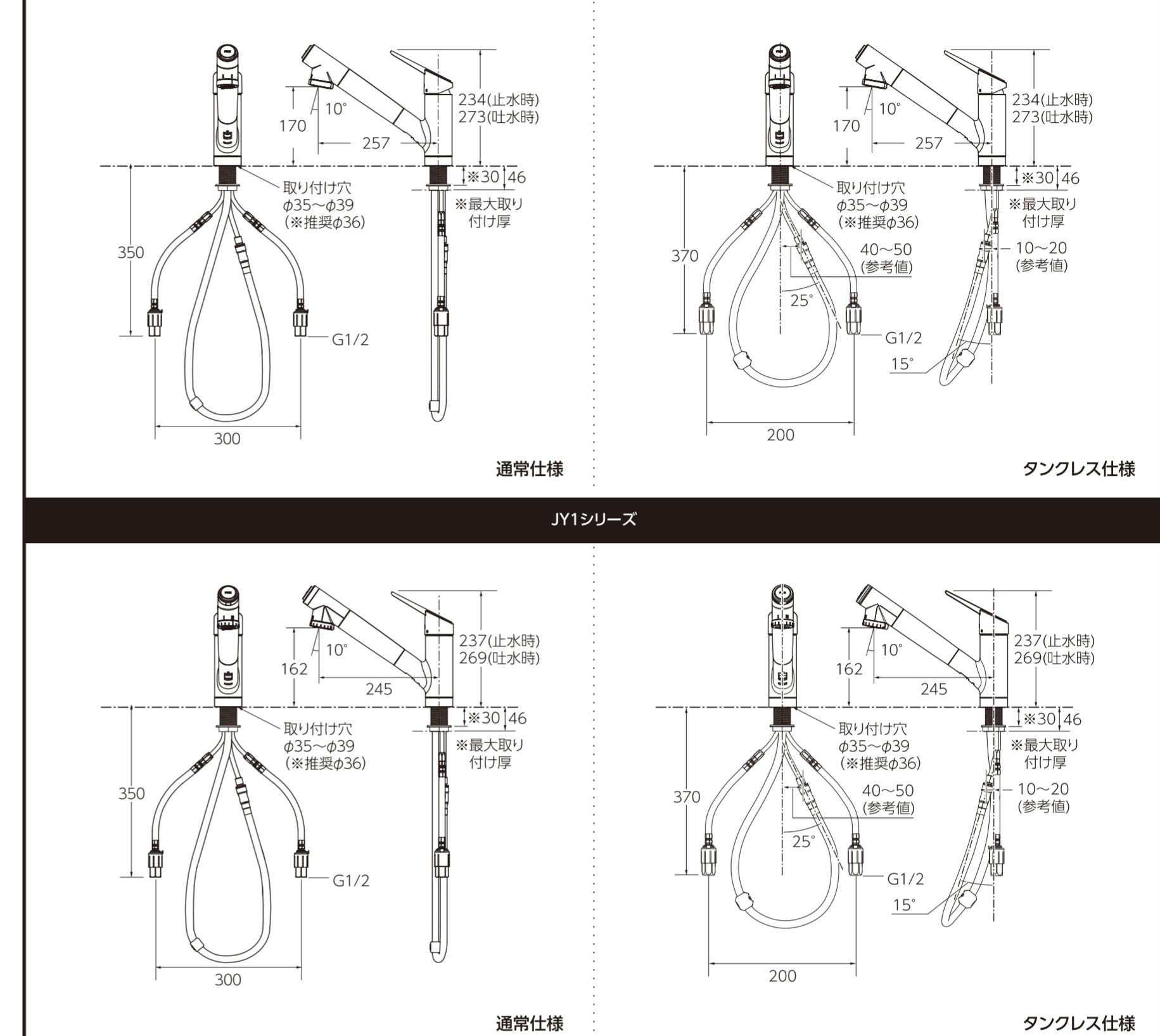
施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れないことを確認してください。



冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください)



外観寸法図 JY2シリーズ



1-①止水栓にネジ式カプラを取り付ける

- ①ネジ式カプラのCリングをはずし、「ゆるむ→」方へ回します。
黒ナット ネジ式カプラ
Cリング

※止水栓にネジ式カプラを取り付けます。
※ネジ式カプラは平行ネジ（Gネジ）です。
※止水栓がテーパーネジ（ネジ）の場合は、テーパーネジ（ネジ）用アダプターを使用してください。

【要確認】通常仕様…逆止弁あり 寒冷地仕様…逆止弁なし

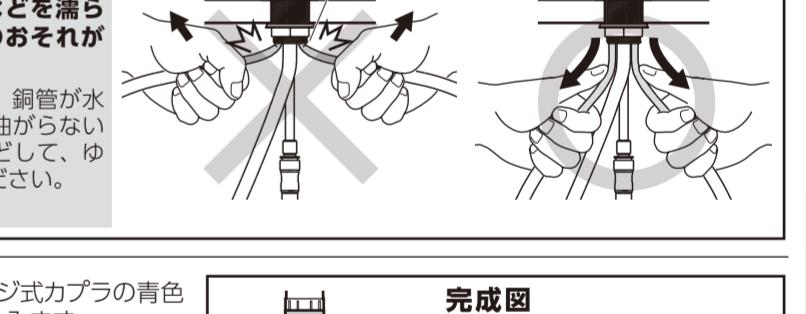
△注意 水漏れのおそれがあります

平行ネジにはシールテープを巻かないでください。止水栓にネジ式カプラが締め込まれているか確認してください。

1-②銅管（湯側・水側）を曲げてネジ式カプラとブレードホースを接合する

- ①銅管（湯側・水側）を取付面から60～70mmの位置で曲げます。
銅管（湯側・水側）の曲げ位置
取付面から60～70mm（推奨値）

25～35 (参考値)



銅管を曲げる際の注意点

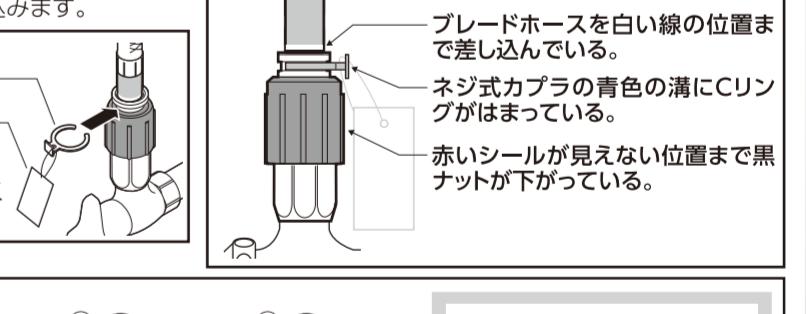
△注意 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

銅管を曲げる際は、銅管が水栓本体端部で折れ曲がらないよう指を添えるなどして、ゆっくりに曲げてください。

②ブレードホースを白い線までネジ式カプラに差し込みます。

- 白い線
ブレードホース
黒ナット
ネジ式カプラ
赤いシール

25～35 (参考値)



- ③ネジ式カプラの赤いシールが見えなくなるまで黒ナットを締めます。

Cリング
Cリングタグ
Cリングタグは施工完了後、取りはずしてください。完成図
ブレードホースを白い線の位置まで差し込んでください。
ネジ式カプラの青色の溝にCリングがはまっている。
赤いシールが見えない位置まで黒ナットが下がっている。

△注意 水が出なくなるおそれがあります

ブレードホース（湯側・水側）の施工上の注意点

- ①ブレードホースの折れに注意してください。ブレードホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあります。施工時は最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、注意してください。

- ②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

- ③ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。

取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合は、400mmタイプまたは580mmタイプのブレードホースを用いて屈曲しないよう、図の様に取り付けてください。

1-③フレキシブルホースを吐水口側の銅管（湯水混合）に取り付ける

- ①フレキシブルホースをシンク下に引き出し、銅管（湯水混合）に接続してください。

銅管先端の保護材を取りはずします。

フレキシブルホース
銅管（湯水混合）
ワンタッチカプラ下に引く
フレキシブルホース
銅管（湯水混合）
ワンタッチカプラ

20～30 (参考値)

15°

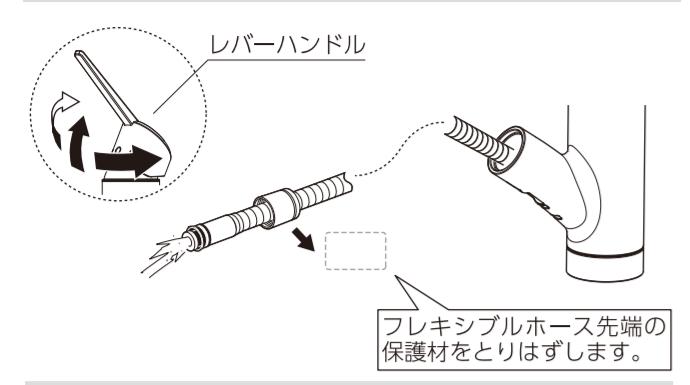
20～30 (

1-7水道配管の止水栓を開ける

レバー・ハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓（湯側・水側）を開けます。

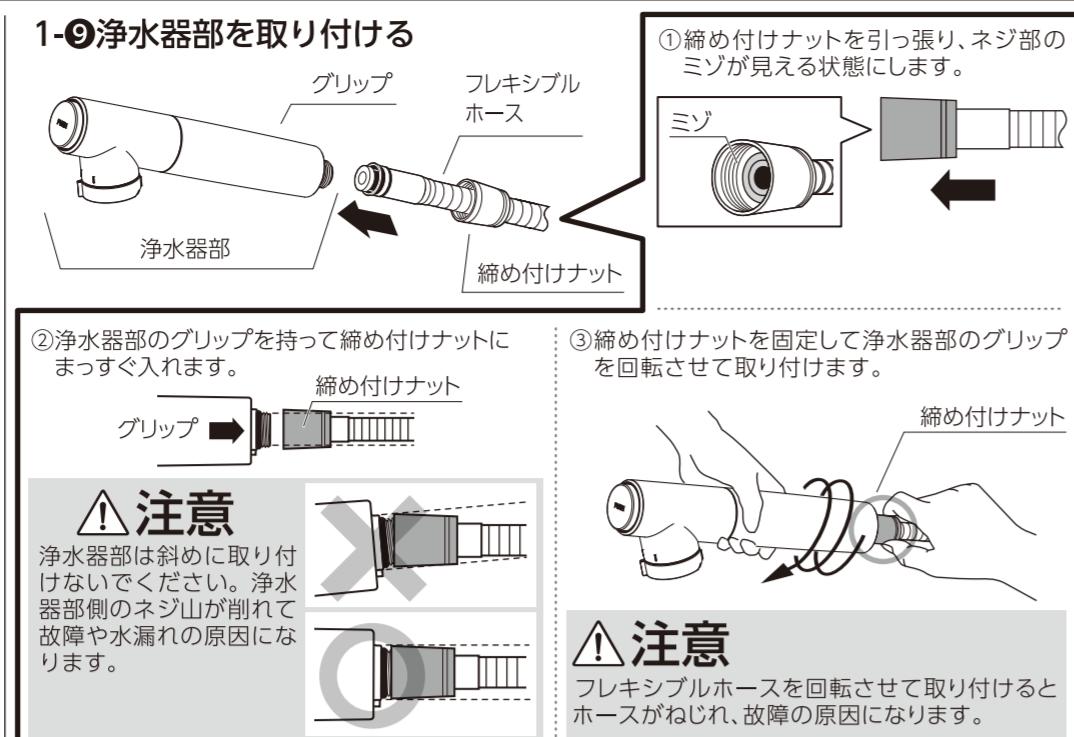
1-8浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。



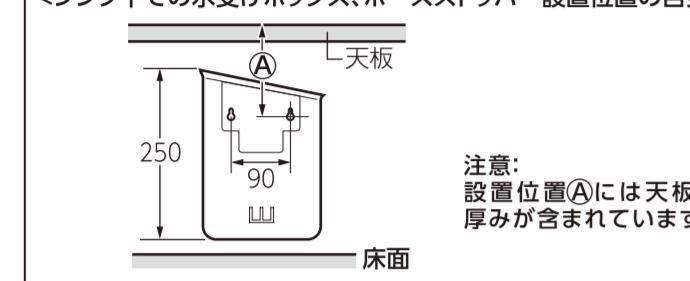
△注意 吐水が飛び散らないよう注意してください。

1-9浄水器部を取り付ける



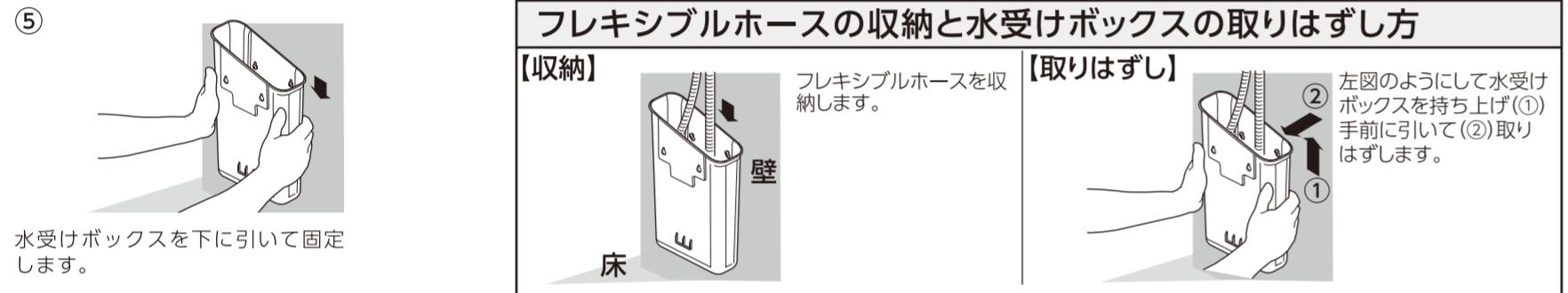
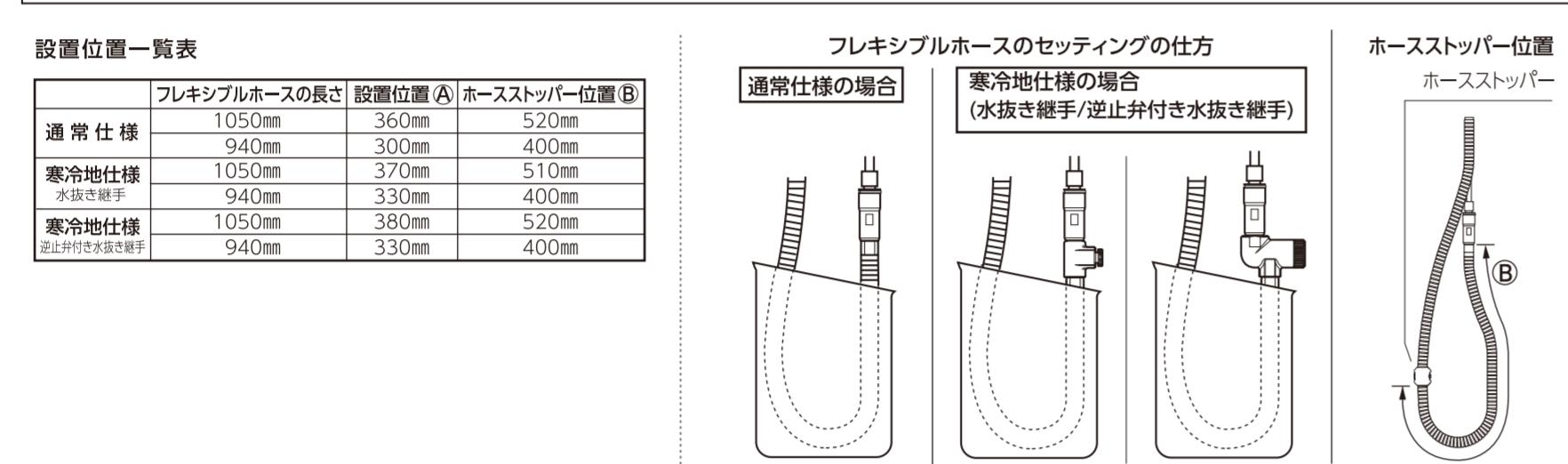
1-10水受けボックスを設置する場合

<シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安>



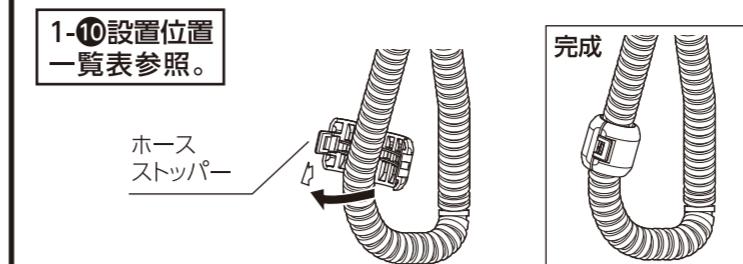
注意：設置位置(A)には天板の厚みが含まれています。

| 設置位置一覧表 | | |
|-------------------------------|-----------------|-------------------------|
| フレキシブルホースの長さ | 設置位置(A) | ホースストッパー位置(B) |
| 通常仕様 | 1050mm 940mm | 360mm 300mm 400mm |
| 寒冷地仕様 | 1050mm 940mm | 370mm 330mm 400mm |
| 寒冷地仕様 逆止弁付水抜き手 逆止弁付水抜き手 | 1050mm 940mm | 380mm 330mm 400mm |



1-11ホースストッパーを取り付ける

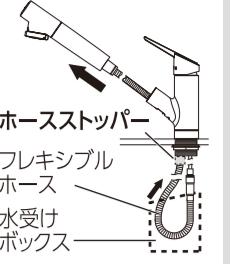
フレキシブルホースをはさみ込みます。



ホースストッパー位置は1-10の(シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安)を参照してください。

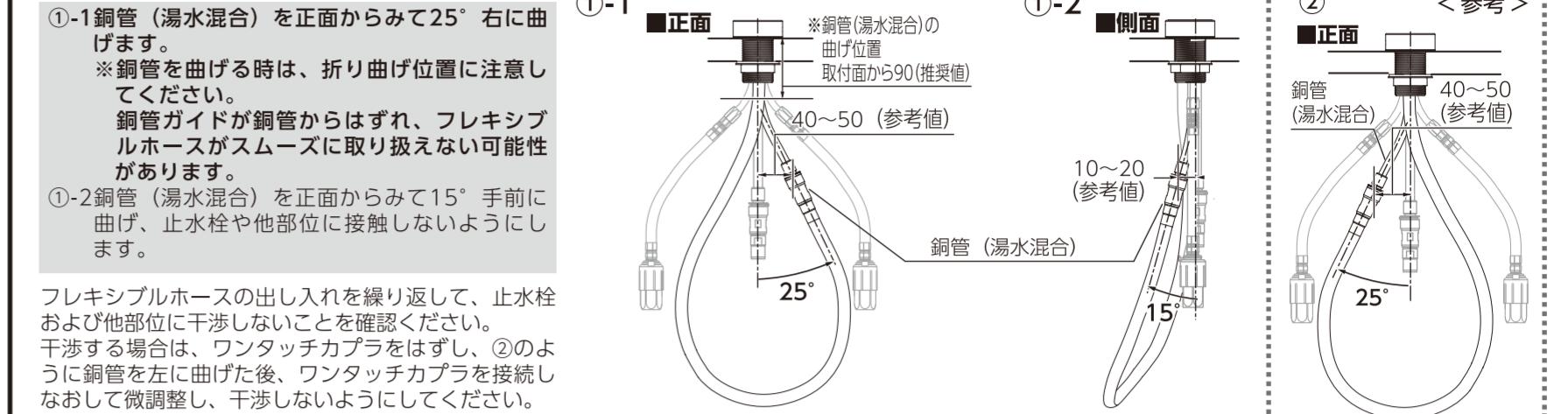
【取り付け上の注意】

浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。
なお、水受けボックスをご使用の場合は、フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないようにホースストッパーの位置を調節してください。



タンクレス仕様の施工の仕方

銅管(湯水混合)を曲げて、フレキシブルホースが止水栓に接触しないようにする



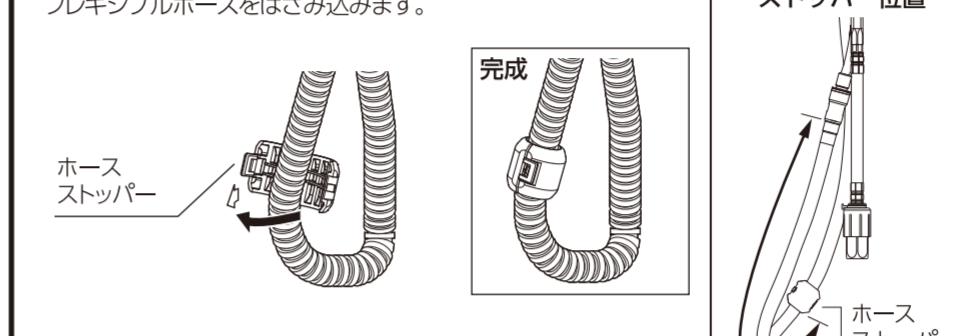
フレキシブルホースの出し入れを繰り返して、止水栓および他部位に干渉しないことを確認ください。

干涉する場合は、ワントッチカプラーをはずし、②のように銅管を左に曲げた後、ワントッチカプラーを接続し

なおして微調整し、干渉しないようにしてください。

ホースストッパーを取り付ける

フレキシブルホースをはさみ込みます。



| フレキシブルホースの長さ | ホースストッパー位置 |
|--------------|------------|
| 通常仕様 | 940mm |
| 寒冷地仕様 | 400mm |

【取り付け上の注意】

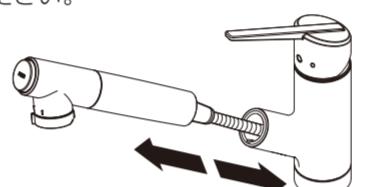
浄水器の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。



2.取り付けが終わったら

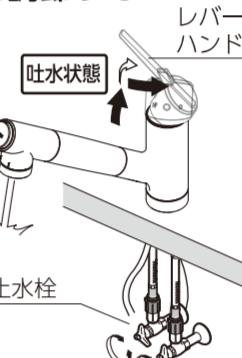
2-1引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し・収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに出し入れ出来ない場合は、給水・給湯の銅管部を左右に広げてフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



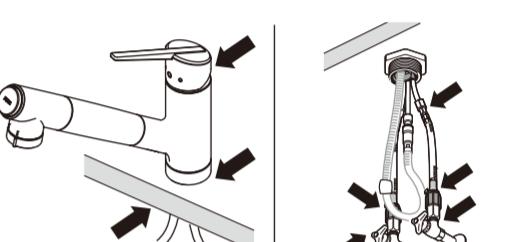
2-2止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



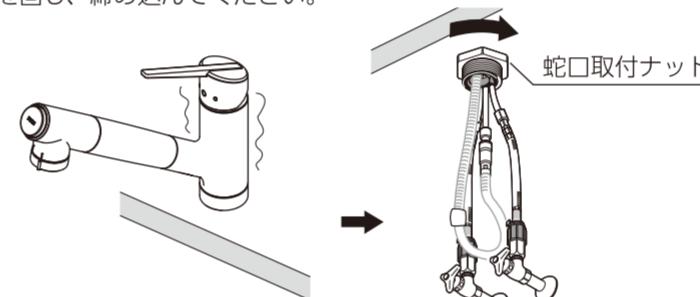
2-3各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カプラおよび蛇口から水漏れのないことを確認してください。



2-4本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、蛇口取付ナットを回し、締め込んでください。



施工完了後、品質表示/節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。

ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。

2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。

3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。

4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。

5. 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

株式会社 タカギ

〒802-8540

福岡県北九州市小倉南区石田南2-4-1